2023年 “なじょだね” 新春特別版
～ 思いのままに ～

【これからの私】

あけましておめでとうございます。

これからの私。

未だに、家族以外に、心を開けず、構えて、敬語でしか話ができずにいる。少しずつ、少しずつと思う私。

次に、習い事。ピアノ（奮闘中）とバイオリン（休憩中）を楽しみたい私。

今年は㈱do-asist を設立して10年目、その中、うたげ堂の営業を始めて、５年目という節目の年となります。何かできないものかと、いろいろ考えている私。

だいぶ、至らぬところが多く、皆さんに助けられて、今の自分がいる事に、深く感謝して、新しい一年を過ごして生きたいと思っております。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。

副編集委員長・㈱ do-asist　**千徳裕子**

【お客様に未だお待ち頂いております。】

新年明けましておめでとうございます。

「トイレを入替えたいのですが……」「はい、ありがとうございます。ただコロナの影響で納期回答が出ません」「給湯器が不具合出たので入替えたいのですが……」「はい、ありがとうございます。ただコロナの影響で納期回答が出ません」

３年前から始まった衛生器具の供給不足。今は、トイレ製品やエコキュートは納期回答が出るようになりましたが、給湯器は未だ半導体の影響もあり、納期回答が出ません。

これから冬の時期を迎え、給湯器が故障しますと、お客様も大変お困りになります。一日でも早く回復し、お客様に安心・安全な給湯器を取付けてさしあげたい。

㈱町田設備工業　**町田　浩**

【2023年の抱負】

明けましておめでとうございます。先日、５年間愛用したスマホの電源ボタンが突然ポロリと外れたので、スマホを買い換えました。新しいスマホへデータ移行をしているときに、普段はなかなか見ない壊れたスマホが新しかった当時の写真を見ました。卒業アルバムを久しぶりに開いたような感覚ですが、一番驚いたのは、子どもの写真です。

日々の生活の中で、毎日顔を見ていると変化に気づきにくいものですが、毎日着実に成長していることに改めて気づきました。今年は、子どもの成長のように、気づかないような成長を日々積み重ね、後で振り返った時に変化した自分に驚けるような１年にしていきたいと思います。皆様、本年も宜しくお願い致します。

編集委員長・(株)高忠商店　**高橋宏忠**

【朝のお茶】

お湯の沸騰する音をよく聞いて、丁度いいところで火を止める。簡単なようで、意外と難しい。自分の気持ちが整わないと、まずいお湯が出来てしまうから。美味しいお湯を作る事は、ある意味修行かもしれない。

亡くなった義父は毎朝、炭を熾し鉄瓶で湯を沸かしていた。鉄瓶は二つあり、交互に使いながら、時々休ませて大事にされていた事を思い出すと、やはり修行かもしれない。

茶器をお湯で温め、お茶を淹れる準備。

茶筒の蓋を開けると、ふぁっと茶葉のにおい。茶合でお茶を量り急須に入れて、湯冷ましの湯気の勢いを見てお湯を注ぐ。急須の蓋を閉めて、美味しくなぁれと願いを込める。

ひと呼吸、背筋を伸ばして茶碗に注ぎ分け、最後の一滴を絞り出す。

一煎目、「うまい」と感じれば今日はいい事がありそうで、頬が緩む。

朝のお茶は今日を占うお茶なのだ。

年頭屋茶舗　**増田恵子**

【2022年の振り返りと2023年の抱負】

新型コロナウイルスの発生からずいぶんと月日が過ぎた感じになっていますが、いまだ収束が見通せず、さらには、ミサイルやら侵略やらで、なかなか先が見通せない状態で新年を迎えることになりました。

最近では、○○ポイントやGo To なんちゃらといった消費喚起が多いですね。先日Go To Eatチケットを求め、あちこちの郵便局をさまよい、ようやくGet!　新年会の会費を先払いしました（笑）。先行き不透明なので、なるべく出費しないようにと頭では思うのですが、まんまと踊らされている感じです。

昨年掲げていた目標については、何だったのか忘れてしまい、日々仕事に追われる毎日。新年からはきちんと目標を掲げ、成し遂げられるように模索していきたいと思います。国内外とも激動の時代。厳しい環境に置かれていますが、なんとか進んでいきたいと思います。

アザミデザイン　**竹田豊和**

【ライブに行ける喜び】

新型コロナウイルスもまだ他人事に思っていた2020年２月、７月に予定されていた好きなアーティストのライブのチケットを購入。しかし３月の緊急事態宣言で直近のライブは全て中止に……。

夏までには収まるだろうと思っていたのに全く収まらず、予定していたライブも中止になり、チケットが払い戻しになりました。

2021年、ライブは再開されましたが、なかなか「行ってきます」なんて言える状況ではない中、ワクチン接種が始まり少しずつ状況が変わって来ました。

そして去年は３月20日に朱鷺メッセ、９月25日には東京ドームに行くことができました。

なかなか終わりが見えない中、去年は少しずつ元通りになっていく事を感じた一年でした。

今年はさらに元通りになる一年になるように願っています。

㈱いろはや製餡所　**小田剛志**

【今年の抱負】

新年あけましておめでとうございます。今年もなじょだね編集委員として柏崎の企業さんを元気に紹介していきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

一方で、私、昨年発足しました柏崎市移住・定住推進パートナーチームのリーダーを務めておりますが、今年は昨年柏崎市に提案させていただいた施策を実行に移していきます。アンケートやヒアリングの結果、移住検討者にとっては、魅力的な仕事がないと移住には至りにくいということが明らかになりました。そこで、Ｕ・Ｉターン増加のための重点項目の１つを「仕事」と設定しました。そして、「柏崎にはこんなニッチで面白い仕事があるんだ」ということを掘り起こして紹介し、移住検討者と柏崎の企業とのマッチングを図りたいと考えています。

なじょだね編集委員会、パートナーチーム、いずれの活動においても、柏崎の仕事にフォーカスして１年間過ごしていきたいと思いますので、ぜひ、多くの商工会議所会員の皆様とも仕事についてお話させていただく機会をいただけると幸いです。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

間島行政書士事務所　**間島博英**

【「えご」もよろしく】

エゴという海藻料理、皆さん食べたことありますか？プルプルつるん、寒天のようだけど弾力があって、エゴ特有の磯の味。ミネラルたっぷり。お盆や冠婚葬祭時に欠かせない郷土料理。四角く一口大に切って辛子醤油や酢味噌をつけて食べます。新潟県では、エゴを食べる人は多いですが、太平洋側の方々は名前も知らないし、食べてみると歯ごたえも不思議で敬遠されがちです。近年、新潟県民でも食べたことがない人が多くなってきました。

笠島の海藻は、モゾクが有名ですが、エゴ草や岩ノリも良質なものがとれます。文化庁では、地域で世代を超えて受け継がれていく食文化を「100年フード」として認定し、新潟県のエゴも認定されました。今後もずーと食べ続けていきたいですね。私も「海辺のキッチン倶楽部もく」で魅力を発信していきたいと思っています。もくでは、笠島独特の刻んだクルミがのった甘じょっぱい「味付えご」を提供しています。

海辺のキッチン倶楽部　もく　**黒崎朝子**

【表現力のすばらしさに触れて】

今、日本で最も有名な女性俳人といえば、夏井いつき先生ではないだろうか。五七五の枠に季語と場所、時間の経過等、ギュッと詰め込む技術は素人目にも素晴らしい。また、先生の「お直し」にかかれば、どんな情景もより鮮やかになる。梅沢富美男さんとのやりとりも面白く、毎週楽しく番組を見ている。

先日、新潟日報に掲載されていた第一回「介護の日」川柳に目が止まった。同じ五七五でも、川柳は身近な人間模様や社会風刺を題材にするらしい。大賞に選ばれた作品は、『「食べたっけ?」「食べさせたっけ?」老夫婦』、老夫婦のコミュニケーションとは、こんなものかもしれないというコミカルさを醸し出していると評価されていた。介護の大変さを肯定的に受け止める「表現力」にホッコリ。近い将来、こんな風にユーモラスにポジティブに過ごせたらと思う。

夏井先生のお言葉を借りまして、

「お見事!」

旅館広川屋　**広川久美子**

【一年の目標を立てないことが目標】

目標を立てなくてどうするの？そこは、一年の目標ではなくスーパー短期目標を立てることにします。目の前の仕事に集中することで、自ずと次から次へと目標が見えてくるでしょう。常に学ぶしかありません。そこで得たものから自分の直感を信じる。そこそこイイ線を行くのではないでしょうか。これが俗に言う‘connecting dots’なのかな。

現代は集中することが難しくなっています。計算機がＰＣ、スマホになり、我々の身近になりました。ＰＣやスマホがエンターテイメントとして我々の中に入り込んできています。

人間ですので、楽しいこと、面白いことなど、いろいろな誘惑に負けてしまいます。無料で情報が飛び込んできますので朝の判断が夕方には変わることが多々あります。

今の時代は、スーパー短期目標でないと役に立たないかもしれませんね。

今日の目標は＊＊＊とか。今週の目標は＊＊＊とか。これくらいまでが自分に合っているかもしれません。

じゃあ。

㈲文盛堂印刷所　**堀　秀樹**